

ヘルパー便

社会医療法人禎心会ホームヘルプサービスステーション 6月号

各事業所の空き状況



- | | |
|-------|----------------------------------|
| 東センター | 長い時間の訪問は難しいですが、1時間位でご相談ください。 |
| 北センター | 土曜日、日曜日以外で、空きがあります。お気軽にご相談ください。 |
| ら・ぱーす | 月～金曜日、時間帯により空きがあります。お気軽にご相談ください。 |
- ※入院などで変動がありますので、お気軽にご相談下さい。3事業所で調整させていただきます。

感染症の対策について

2020年新型コロナウイルス感染拡大以来、昨年の第5類移行後もヘルパーの訪問時、感染対策を継続してきました。熱中症予防も考慮し、7月よりマスク着用について事業所の指示を解消しヘルパー個人の判断に委ねさせていただきます。ご利用者様には、7月にサービス提供責任者より説明と意向の確認をしつつ、文書案内も送付します。希望のあるご利用者宅では、マスク着用を継続します。その他、体調確認、手指消毒等の通常の感染対策は継続致します。ご不明の点がございましたら、各ヘルパーステーションへお問い合わせください。

みなさまにお願い

家族・親戚・友人で初任者研修（ヘルパー2級）以上の資格を持っている方はいませんか？介護の現場を離れている方も、研修体制が整っており、丁寧にサポートします。資格のない方も、資格取得を支援致します。勤務したい時間帯や曜日も選べ、急な休みにも対応します。
※ぜひ、ご紹介下さい！！

にやりほっと

女性 A さんは、高次脳機能障害で反応が少なく、感情の表出があまりできません。ヘルパーは訪問時、たくさん声かけをしています。いつもは話しかけても「はい」か「いいえ」のそっけない返事です。
ある時、ヘルパーが大げさに「ね～え。Aさん。」と、共感を求めました。すると A さんもつられて「ね～え。」と反応！その後、恥ずかしそうな笑顔が素敵でした。



6月のヘルパー研修は「車椅子の介助」でした。

気温の安定する6月は、毎年「車椅子の研修」を実施しています。各事業所の敷地内で行います。車椅子もどんどん新しくなっていますので、その新しい機能も学びます。まず、車椅子の部位と機能を学びます。室内では、廊下やエレベータ内の操作、屋外では、段差や傾斜のついた道路、ガタガタ道、点字ブロック等をコースに入れ、普段は介助する側ですが、1年に1度自ら介助される側を経験することで、安全、安楽な介助へと視点や意識が変わります。



まず、部位と操作方法の確認をします。



段差は、テッピングレバーを有効的に使用し、衝撃を最小減に抑えます。

*** 段差や角度のある道路の走行も経験し、より衝撃の少ない介助を学びました。**

*** これからも、具体的な介助を学び、安全安心な介護を目指します！**



歩道は、傾斜がある道で、操作に注意が必要です。